

■ 大学院学生募集要項(願書含む)の請求方法

テレメール(インターネット・自動音声応答電話)でご請求ください。

① パソコン・スマホ・ケータイ、電話でアクセスしてください。





パソコン・スマホ・ケータイなら
<https://telemail.jp>

 バーコード


自動音声応答電話なら
IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)
※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

② 大学院学生募集要項の資料請求番号を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)	発送開始日
大学院案内	569480	140円	5月下旬
大学院募集要項(看護学研究科)	589480	215円	
大学院募集要項(看護学研究科)・大学院案内	549580	250円	
大学院募集要項(診療放射線学研究科)	600500	215円	
大学院募集要項(診療放射線学研究科)・大学院案内	600510	250円	

※料金はお届けする資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従い、表示料金をお支払いください。料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です(コンビニ支払いは86円、ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは150円、窓口扱いは200円、ケータイ払いは50円、クレジットカード払いは50円。コンビニ払いは消費税10%時は88円へ変更予定)。また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

③ ガイダンスに従ってお届け先等の登録を行ってください。

テレメールのパスワードをお持ちの方は不要です。

発送日から3~4日で資料が届きます

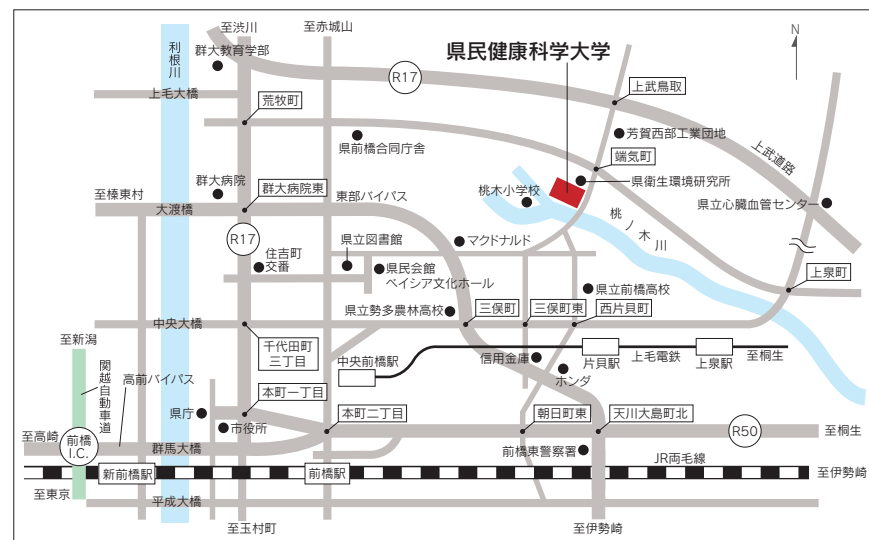
※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては1週間程度要する場合があります。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先

テレメールカスタマーセンター **IP電話 050-8601-0102**(受付時間 9:30~18:00)まで

次の各窓口でも請求できます。

県民健康科学大学事務局・群馬県庁2F県民センター・群馬県各行政県税事務所
群馬県各(保健)福祉事務所



access

[公共交通機関]

- JR「前橋駅」北口6番乗り場、永井バス小坂子、または荻窪公園行き「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

[自動車]

- 関越自動車道「前橋I.C.」から約20分


群馬県立県民健康科学大学大学院
 Gunma Prefectural College of Health Sciences Graduate School

〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211(代表) Fax.027-235-2501

URL <https://www.gchs.ac.jp/> E-mail: info@gchs.ac.jp

GCHS

群馬県立県民健康科学大学大学院

Gunma Prefectural College of Health Sciences Graduate School

2020





大学院のあゆみ

平成21年	4月	群馬県立県民健康科学大学大学院 修士課程開設(看護学研究科、診療放射線学研究科)
平成28年	4月	博士後期課程開設(看護学研究科、診療放射線学研究科) 修士課程を博士前期課程に改称
平成30年	4月	群馬県公立大学法人による運営に移行

大学院のプロフィール

**●看護学研究科
看護学専攻(博士前期課程)**

入学定員	修業年限	学 位
8名	2年※	修士(看護学)

※最長4年まで長期履修可
※キャリア開発コースを含む
医療機関などで院内教育や管理に携わる実践的指導者となる人材を育成

看護学専攻(博士後期課程)

入学定員	修業年限	学 位
2名	3年※	博士(看護学)

※最長6年まで長期履修可
学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点から看護の発展に貢献できる人材を育成

**●診療放射線学研究科
診療放射線学専攻(博士前期課程)**

入学定員	修業年限	学 位
5名	2年※	修士(放射線学)

※最長4年まで長期履修可
CT・MRI・重粒子線治療など高度化が進む医療機器に対応した高度な知識・技術を持つ人材を育成

診療放射線学専攻(博士後期課程)

入学定員	修業年限	学 位
2名	3年※	博士(放射線学)

※最長6年まで長期履修可
診療放射線学分野の臨床研究者及び教育者、並びに高度医療専門職のリーダーを育成



学長 高田 邦昭 Kuniki Takata

群馬県立県民健康科学大学は、群馬県民の「健康生活への夢の実現」という大きな期待を受け、平成17年に開学しました。医療技術の高度化・専門化が進み、県民の医療に対する需要も多様化する中で、本学は地域の医療福祉水準の一層の向上に寄与するため、平成21年に大学院修士課程(現博士前期課程)を開設しました。さらに、平成28年には大学院博士後期課程を設置し、一段と高度化していく保健医療や教育の現場で活躍するリーダー(博士)の育成にも取り組んでいます。

本学の大学院には、看護学研究科と診療放射線学研究科の二つの研究科があり、看護学・診療放射線学の理論・応用の教授・研究を通じて、高度な知識・技術を身につけます。看護学研究科では、医療機関等における実践的指導者養成とともに、学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点から看護の発展に貢献できる人材を養成します。診療放射線学研究科では、高度な医療機器に対応する人材養成とともに、臨床研究者や教育者ならびに高度医療専門職リーダーの育成を行います。

本学の大学院は、医療の現場で活躍中の方々をはじめとして、社会人にも広く門戸が開かれています。職業を持つ方々のための社会人入試や、入学後も仕事を続けながら計画的に授業を受けられるよう、夜間開講、集中講義等の多様な授業方法を展開しています。

修士、博士をめざす皆さんの入学を心よりお待ちしております。

地域の保健医療水準の向上に寄与します。

社会人の積極的な受入れ

- ▶ 入学試験では、社会人特別選抜試験を実施します。
- ▶ 夜間にも授業を開講し、仕事を続けながら修学できるよう配慮します。
- ▶ 博士前期課程は、2年間相当の授業料のまま修業年限を最大4年まで、博士後期課程は、3年間相当の授業料のまま修業年限を最大6年まで延長できる長期履修制度を設けています。
- ▶ 短期大学、専門学校、各種学校の卒業者に対しても入学試験の出願資格を付与*します。
※本学が行う審査により、受験資格があると認められた方が対象。
- ▶ 科目等履修生となり、入学前に単位を修得することもできます。

博士前期課程

Master's Program in Nursing

修業年限2年	入学定員8名	学位：修士(看護学)
--------	--------	------------

2018年度 看護学教員・教育管理職キャリア開発コース開設
 2019年度 看護管理者キャリア開発コース開設
 2020年度 コミュニティ看護実践者キャリア開発コース開設予定
 科学的根拠に基づく実践 (Evidence-Based Practice) の実現を目的とし、より質の高い看護を提供するための研究ができる人材及び系統立てた看護・教育を実践できる人材を育成します。



看護学研究方法論Ⅰの授業風景

博士後期課程

Doctoral Program in Nursing

修業年限3年	入学定員2名	学位：博士(看護学)
--------	--------	------------

自立的に研究を行い、看護実践に役立つ専門性の高い知識を産出し、学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点をもって看護の機能を発展させることに貢献するとともに、その成果を他の看護職者に普及できる人材を育成します。



実践看護学特論の授業風景

特色

看護学研究者の育成に加え、看護学教員や院内教育担当者に必要な教育実践力、または看護管理責任者に必要な組織運営力、コミュニティの課題解決に必要な能力を備えた看護実践者の人材養成を目指す『キャリア開発コース』を設置している点が大きな特色です。

- 看護学研究科には、実践看護学と看護教育学の2領域があります。
- 各領域に『リサーチコース』と『キャリア開発コース』を置いています。
- より質の高い看護を提供するための教育及び研究を展開します。
- 看護学教員の教育能力、院内教育を企画し実践できる能力を養うための教育及び研究を展開します。
- より質の高い看護サービスを提供できる看護管理者の看護管理能力を高めるための教育及び研究を展開します。
- 保健師及び訪問看護師等がコミュニティの課題解決に必要な能力を高めるための教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長 ● 巴山 玉蓮

領域	教員名	研究課題・主な研究テーマ
実践看護学	教授 石川 良樹	ロコモティブシンドローム等の運動機能の改善に関する研究課題
	教授 狩野 太郎	老年期にある人々への看護、老年看護学に関する研究課題及び、がん化学療法看護に関する研究課題
	教授 大澤 真奈美	公衆衛生看護(保健師活動)、精神障害を持つ者への訪問看護に関する研究課題
	教授 齋藤 基	地域看護活動、在宅看護活動に関する研究課題
	教授 高井 ゆかり	老年看護学や疼痛管理に関する研究課題
	教授 巴山 玉蓮	看護政策管理に関する研究課題
	教授 行田 智子	妊娠期・産褥期・育児期にある人とその家族への看護に関する研究課題
	教授 廣瀬 規代美	成人看護学やがん看護に関する研究課題
	教授 宮崎 有紀子	ヘルスプロモーション、健康づくり支援活動に関する研究課題
	教授 横山 京子	小児期にある人々への看護、小児看護学に関する研究課題
看護教育学	准教授 飯田 苗恵	在宅看護、難病看護に関する研究課題
	准教授 上山 真美	老年看護学や排泄ケアに関する研究課題
	教授 松田 安弘	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題
	教授 山下 暢子	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題
	准教授 服部 美香	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題

特色

看護の機能の発揮に必要な能力・質の高い教育の提供に必要な能力・研究遂行に必要な能力の修得に関わる専門科目を設定し、これらの履修により得られた学修成果が「特別研究Ⅱ」に統合され、段階的に能力を獲得できるカリキュラムを編成している点が大きな特色です。

- 多職種と協働して組織運営に参画し、管理的機能を発揮するための教育及び研究を展開します。
- 高等教育としての看護教育に精通し、専門的知識・技術と指導力を駆使して質の高い教育を実践するための教育及び研究を展開します。
- 臨床現場に存在する多様かつ複雑な問題の解明とその成果の適用を通じ、組織内の研究活動を推進するための教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長 ● 巴山 玉蓮

領域	教員名	研究課題・主な研究テーマ
機能発展看護学	教授 石川 良樹	ロコモティブシンドローム等の運動機能の改善に関する研究課題
	教授 狩野 太郎	老年期にある人々への看護、老年看護学に関する研究課題及び、がん化学療法看護に関する研究課題
	教授 齋藤 基	地域看護活動、在宅看護活動に関する研究課題
	教授 高井 ゆかり	老年看護学や疼痛管理に関する研究課題
	教授 巴山 玉蓮	看護政策管理に関する研究課題
	教授 行田 智子	妊娠期・産褥期・育児期にある人とその家族への看護に関する研究課題
	教授 松田 安弘	看護教育に関する研究課題
	教授 宮崎 有紀子	ヘルスプロモーション、健康づくり支援活動に関する研究課題
	教授 山下 暢子	看護教育に関する研究課題
	教授 横山 京子	小児期にある人々への看護、看護教育に関する研究課題

博士前期課程 授業科目

共通科目 [6~8単位]	専門科目 [12~14単位]	学位論文 [12単位]
リサーチコース 看護学研究方法論Ⅰ ＊ 看護学研究方法論Ⅱ ＊ 研究と倫理 ＊ 教育と倫理 ＊ 看護政策管理論 ＊ キャリア開発コース 保健医療特論 保健医療安全学特論 専門職教育展開Ⅰ ＊ 専門職教育展開Ⅱ ＊ など	実践看護学領域 実践看護学構築論Ⅰ 看護教育学領域 看護教育学Ⅰ など 実践看護学領域 【看護管理者キャリア開発】 看護政策管理論演習 など 看護教育学領域 【看護学教員キャリア開発】 教育実践演習Ⅰ など 【教育管理者キャリア開発】 課題発見実習 など 【コミュニティ看護実践者キャリア開発】 コミュニティ看護展開Ⅰ など	特別研究 課題研究
リサーチコース 科学的根拠に基づく看護・教育実践の実現に向けた研究成果を産出するとともに、その活用による質の高い実践を展開できる能力の修得を目指します。 キャリア開発コース 看護管理者キャリア開発コース(認定看護管理者受験資格の取得が可能です) 看護教育キャリア開発コース(専任教員養成講習会・教務主任養成講習会の認定を受けています)	修了要件 本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験(口頭試験)に合格することが要件です。 履修方法 実践看護学領域又は看護教育学領域のいずれかを専攻とし、専攻に関連する専門科目12単位と、特別研究・課題研究12単位を必ず履修し、それ以外の8単位は*印の共通・専門科目(選択)又は両研究科共通科目から選択履修します。この他、修了単位には加算されませんが、*印のない両研究科共通科目を自由科目として履修することができます。なお、年間の履修単位は24単位(集中講義及び特別研究は含めない)を上限とします。	修了要件 本研究科に3年以上在籍し、所定の単位(16単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験(口頭試験)に合格することが要件です。 履修方法 (1) 特別研究Ⅱ(6単位)を必修科目として履修します。 (2) 専門科目のうち、看護政策管理特論、看護教育学特論、実践看護学特論(3科目6単位)を必修科目として履修します。 (3) (1)(2)以外の科目(4単位以上)を選択科目として履修します。 ※なお、年間の履修単位は10単位(集中講義及び特別研究Ⅱは含めない)を上限とします。

博士後期課程 授業科目

両研究科共通科目 (2単位以上を履修)	専門科目 (6単位以上を履修)	特別研究 (6単位)	修了要件
保健医療組織管理学特論 など	〈必修〉 看護政策管理学特論 看護教育学特論 実践看護学特論 〈選択〉 看護専門職の役割と責務 倫理学特別演習 プレFD特別演習 (大学教員としての基礎) など	特別研究Ⅱ	修了要件 本研究科に3年以上在籍し、所定の単位(16単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験(口頭試験)に合格することが要件です。 履修方法 (1) 特別研究Ⅱ(6単位)を必修科目として履修します。 (2) 専門科目のうち、看護政策管理学特論、看護教育学特論、実践看護学特論(3科目6単位)を必修科目として履修します。 (3) (1)(2)以外の科目(4単位以上)を選択科目として履修します。 ※なお、年間の履修単位は10単位(集中講義及び特別研究Ⅱは含めない)を上限とします。

博士前期課程

Master's Program in Radiological Technology

修業年限2年	入学定員5名	学位：修士(放射線学)
--------	--------	-------------

特別研究を通じて、診療放射線学の発展に貢献するとともに高度医療専門職者、研究者及び教育者としての基礎的能力を持つ人材を育成します。

- 地域医療に貢献できる高度医療専門職者の養成
- 診療放射線学において研究者、教育者としての基礎的能力を持つ人材の養成



機能画像学特論の授業風景

博士後期課程

Doctoral Program in Radiological Technology

修業年限3年	入学定員2名	学位：博士(放射線学)
--------	--------	-------------

診療放射線学に関する研究能力を有し、研究成果を画像診断および放射線治療技術の向上に還元できる次の人材を育成します。

- 診療放射線学の研究を推進できる臨床研究者の養成
- 高度な教育指導力を備えた大学教員の養成
- チーム医療を積極的に推進できる放射線技術部門のリーダーの養成



診療放射線学特別研究の様子

特色

我が国で唯一の「診療放射線学部」を基盤とし、放射線画像検査学、放射線治療学等の臨床に即した学術研究を積極的に行うことにより、人々の健康支援、疾病の早期発見、治療効果の向上に寄与する人材を育成するとともに、診療放射線学のさらなる発展に貢献します。

- 診療放射線学研究科に放射線画像検査学分野と放射線治療学分野を置きます。
- 画像処理並びに画像解析技術の育成に重点を置いた教育及び研究を実施します。
- 画像評価並びに読影能力の育成に重点を置いた教育及び研究を実施します。
- 重粒子線治療プロジェクト等に参考可能な研究能力を養う教育及び研究を実施します。

※ 本課程に設置の「小児・AYA・希少がん専門医療人養成医学物理コース」は一般財団法人医学物理士認定機構の医学物理教育コースに認定されています。

教育研究分野と担当教員

分野	教員名	研究課題・主な研究テーマ
放射線画像検査学	教授 青木 武生	膜輸送と放射線の作用に関する研究課題 腫瘍細胞と抗がん剤の効果に関する研究課題
	教授 上原 真澄	造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題 生体物質の糖化と評価方法に関する研究課題 診療放射線技術における職場教育に関する研究課題
	教授 小倉 明夫	磁気共鳴画像及びMRI検査に関する研究課題
	教授 小倉 敏裕	診療放射線画像の解析に関する研究課題
	教授 柏倉 健一	脳機能測定に関する研究課題
	教授 下瀬川 正幸	医療画像情報学に関する研究課題 診療放射線学教育学に関する研究課題
	教授 瀬川 篤記	医療従事者の多職種連携に関する研究課題 医療安全に関する研究課題
	准教授 佐藤 哲大	生体医学に関する研究課題
	准教授 大崎 洋充	核医学技術に関する研究課題
	准教授 高橋 哲彦	診断支援アプリケーションに関する研究課題
放射線治療学	准教授 長島 宏幸	医用画像処理技術に関する研究課題
	准教授 林 則夫	画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題
	准教授 渡部 晴之	医用画像処理に関する研究課題
	講師 寺下 貴美	医療情報学に関する研究課題 診療放射線学教育学に関する研究課題
	教授 佐々木 浩二	放射線治療技術学、放射線計測学に関する研究課題
	教授 原 孝光	放射線による殺細胞効果の増感に関する研究課題
	准教授 五十嵐 博	放射線治療及び診療放射線部門における組織・品質マネジメントに関する研究課題
	准教授 大野 由美子	放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 杉野 雅人	環境放射線(能)計測および管理・防護に関する研究課題
	准教授 高田 健太	放射線治療物理学、医学物理学に関する研究課題

特色

学士課程から博士前期課程へと続く人間の尊重を重んじた教育を基盤として、臨床に即した学術研究を積極的に行うことを通じて、人々の健康支援、疾病の予防、治療効果の向上への寄与を目指すと同時に、診療放射線学のさらなる発展に貢献します。

- 診療放射線学研究科に放射線画像検査学分野と放射線治療学分野を置きます。
- 画像処理並びに画像解析の研究開発能力の育成に重点を置いた教育及び研究を実施します。
- 高精度放射線治療の実践・推進・開発能力の育成に重点を置いた教育及び研究を実施します。
- 放射線技術部門のリーダー育成に重点を置いた教育及び研究を実施します。

教育研究分野と担当教員

分野	教員名	研究課題・主な研究テーマ
放射線画像検査学	教授 青木 武生	膜輸送と放射線の作用に関する研究課題 腫瘍細胞と抗がん剤の効果に関する研究課題
	教授 上原 真澄	造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題 生体物質の糖化と評価方法に関する研究課題 診療放射線技術における職場教育に関する研究課題
	教授 小倉 明夫	磁気共鳴画像及びMRI検査に関する研究課題
	教授 小倉 敏裕	診療放射線画像の解析に関する研究課題
	教授 柏倉 健一	脳機能測定に関する研究課題
	教授 下瀬川 正幸	医療画像情報学に関する研究課題 診療放射線学教育学に関する研究課題
	教授 瀬川 篤記	医療従事者の多職種連携に関する研究課題 医療安全に関する研究課題
	准教授 佐藤 哲大	生体医学に関する研究課題
	准教授 大崎 洋充	核医学技術に関する研究課題
	准教授 林 則夫	画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題
放射線治療学	准教授 渡部 晴之	医用画像処理に関する研究課題
	講師 寺下 貴美	医療情報学に関する研究課題 診療放射線学教育学に関する研究課題
	教授 佐々木 浩二	放射線治療技術学、放射線計測学に関する研究課題
	教授 原 孝光	放射線による殺細胞効果の増感に関する研究課題
	准教授 五十嵐 博	放射線治療及び診療放射線部門における組織・品質マネジメントに関する研究課題
	准教授 大野 由美子	放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 杉野 雅人	環境放射線(能)計測および管理・防護に関する研究課題

博士前期課程 授業科目

共通科目	放射線画像検査学分野	放射線治療学分野	修了要件
診療放射線学特論 [2単位]	専門科目 所属する分野から6単位以上を履修	専門科目 所属する分野から6単位以上を履修	本研究科に原則として2年以上在籍し、所定の単位(30単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが要件です。
研究方法論と基礎統計学 [2単位]	磁気共鳴学特論 [2単位]	放射線治療学特論 [2単位]	履修方法 放射線画像検査学分野又は放射線治療学分野のいずれかに所属し、所属分野の専門科目から6単位以上と、特別研究12単位を必ず履修し、残りの12単位は他の専門科目(所属分野以外の専門科目を含む)又は共通科目から選択履修します。なお、年間の履修単位は24単位(集中講義及び特別研究は含めない)を上限とします。
放射線画像解剖学特論 [2単位]	造影検査学特論 [2単位]	先端放射線治療学特論 [2単位]	
放射線学シミュレータ特論 [2単位]	放射線画像技術学特論 [2単位]	放射線生物学特論 [2単位]	
保健医療特論 [2単位]	放射線画像解析学特論 I [2単位]	放射線管理計測学特論 [2単位]	
保健医療安全学特論 [2単位]	放射線画像解析学特論 II [2単位]	放射線安全管理特論 [2単位]	
基礎物理学特論 [1単位]	機能画像学特論 [2単位]	重粒子治療技術学演習 [2単位]	
量子力学特論 [2単位]	核医学検査技術学特論 [2単位]		
原子核物理学特論 [2単位]	医療画像情報学特論 [2単位]		
専門職教育展開論 I [2単位]			
専門職教育展開論 II [2単位]			
研究と倫理 [2単位]			
教育と倫理 [2単位]			
	特別研究 診療放射線学特別研究 [12単位]		

博士後期課程 授業科目

共通科目	放射線画像検査学分野	放射線治療学分野	修了要件
2単位以上を履修	専門科目 所属する分野から2単位以上を履修	専門科目 所属する分野から2単位以上を履修	本研究科に原則として3年以上在籍し、所定の単位(12単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが要件です。
診療放射線学教育学特論 [2単位]	放射線画像解剖学特論演習 [2単位]	先端放射線治療学特論演習 [2単位]	履修方法 放射線画像検査学分野又は放射線治療学分野のいずれかに所属し、共通科目から2単位以上、所属分野の専門科目から2単位以上、特別研究6単位を必ず履修し、残りの2単位は他の共通科目又は専門科目(所属分野以外の専門科目を含む)から選択履修します。なお、年間の履修単位は8単位(集中講義及び特別研究は含めない)を上限とします。
保健医療組織管理学特論 [2単位]	放射線画像解析学特論演習 [2単位]	重粒子治療技術学特論演習 [2単位]	
	造影検査学特論演習 [2単位]	放射線管理計測学特論演習 [2単位]	
	磁気共鳴学特論演習 [2単位]		
	機能画像学特論演習 [2単位]		
	医療画像情報学特論演習 [2単位]		
	特別研究 診療放射線学特別研究 [6単位]		

博士前期課程

毎日の発見を積み重ね、
自分らしさへ

新島 怜子さん（群馬県発達障害者支援センター勤務）
看護学研究科 看護学専攻 実践看護学（2018年度入学）



私は保健師として難病、感染症、精神保健といった様々な業務を経験し、現在は発達障害者支援センターにおいて発達障害に関する相談支援を行っています。日々、相談の中で相互のコミュニケーションの大切さと難しさを同時に感じています。あらゆる支援職がいる中で、保健師としていったい何が出来るだろうと考えて本学大学院への進学を決めました。

職場の上司や同僚の協力で、仕事をしながら大学院で学修しているので、アフターファイブや休日は課題や研究に費やすことも多いです。それでも先生方がとても熱心で親身になってくれますし、院生同士も風通しが良くいつも助け合っています。いつでもエネルギーをもらえるあたたかい大学院です。院生には学業に専念している方も、臨床の看護師や教員など仕事を持

ちながら学修している方もいて、いろいろな立場からのディスカッションはとても新鮮で面白いです。働きながら学ぶことで、得た気づきをすぐに職場に戻って還元できるため、仕事をしていても発見の多い毎日です。

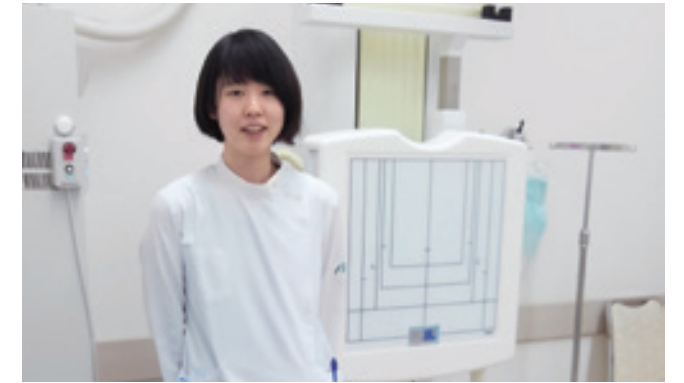
今後、研究によって、関わりが難しい対象者との相互のコミュニケーション場面における保健指導の工夫について、明らかにしていきたいと考えています。

本学では働きながら自分らしい研究ができます。自分の研究で明らかにしたことを実践の現場に還元していきたいです。

博士前期課程

大学院1年生 & 社会人1年生

丸山 朋子さん（信州大学医学部附属病院勤務）
診療放射線学研究科 診療放射線学専攻 放射線画像検査学
（2018年度入学）



私は昨年本学の診療放射線学科を卒業し、信州大学医学部附属病院に就職すると同時に本学大学院に進学しました。週5日働きつつ、大学院生として研究等に打ち込む日々を送っています。

なぜ就職と同時に大学院に進む選択をしたのか、と問われることがよくあります。大学院入試を受けた理由は、学部のとく研究と研究室が楽しかったから、病院以外に頑張る居場所をつくりたいと思ったから、でした。きっかけは小さく何気ないものですが、進学してよかったと感じています。

社会人1年目と大学院1年生との両立は、精神的・体力的・時間的余裕がなく大変でしたが、得るものも大きかったです。実際に臨床の場に出なければ現場の問題点や需要、医療全体の

システム等はなかなか見えてきません。同様に、大学院という「研究をするための場所」に身を置くことで、一歩進んだ勉強や研究、それに伴う学会発表等を経験することができました。「臨床の場にながら研究をする」ということの重要性を実感した1年でした。

私は、医療画像に対して深層学習を応用する研究をしています。技術の発展が著しく難しい分野ですが、やりがいや楽しさも感じられるようになってきました。めげてしまいそうになるときもありますが、指導していただいている先生方のおかげで充実した毎日を送っています。医療への貢献の証をひとつでも多く残し、願わくは世界でも活躍出来る人材になれるよう、日々努力していきたいです。

博士後期課程

大学教員として、人々に
研究成果を還元できることを目指して

浅井 直美さん（高崎健康福祉大学勤務）
看護学研究科 看護学専攻 機能発展看護学（2018年度入学）



私は現在、看護系大学の教員として、学生の教育および研究をしています。以前に、訪問看護ステーションで初めて訪問看護実践を経験した際、看護師としての自信がなくなり、職場継続に悩みましたが、周囲の方々に支えられ継続することができました。自分と同様に悩む同僚を見て、看護師のために、そして、看護を受ける地域で暮らす人々のために、自分にできることをしたいという一心で研究を行い、一つの研究成果が得られました。看護系大学に移り、この研究を発展させ、問題を解決したいという強い思いがありましたが、思いだけでは解決できず、自分の能力の限界を知り、博士後期課程への進学を考えました。

現在、職場の方々の協力を得ながら、長期履修制度を利用し、博士後期課程の学修と研究を行いながら、就業しています。博士後期課程の学修は、貴重な知的財産となっていることを実感するとともに、学修と就業との両立は厳しい面もあります。しかし、指導教員の先生方の丁寧な指導により、研究を遂行する充実感を得ながら、学修に取り組んでいます。博士後期課程では、訪問看護に従事する看護師の職業的アイデンティティに焦点をあてた研究を遂行しています。そして、研究成果を看護師や地域で暮らす人々に還元することを目指しています。また、看護基礎教育では、博士後期課程の学修成果を活用し、看護専門職の育成のために貢献したいと考えています。

博士後期課程

後進育成

清水 秀年さん（愛知県がんセンター勤務）
診療放射線学研究科 診療放射線学専攻 放射線治療学
（2018年度入学）



私は大学卒業後、放射線治療業務に専従できる環境にある愛知県がんセンターの放射線治療部に入職しました。諸先輩方から放射線治療に関わる多くの知識・技術を学ぶ一方で、30歳を過ぎてからは臨床業務だけでなく研究業務についても系統的に後進を育成するための能力が必要であると感じ、本学博士後期課程進学を決意しました。

大学院では、放射線の入射角度を制限した頸部食道がん高精度放射線治療計画について、患者さんの動きによる腫瘍および正常組織の線量分布の変化を定量化し、許容できる動きを同定する研究をしています。指導教員を始め、大学院の教員・先輩

方の指導のお陰で1年次に2本の論文を海外に発信することができました。

今後は、さらに優れた放射線治療を患者さんに提供できるように系統的な後進育成はもちろん、多くの方と共同研究し、成果を海外に発信することで、診療放射線技師の学術的地位向上に少しでも貢献できればと思っています。

2020年度 博士前期課程

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年数	2年(但し、長期履修制度適用の場合は最長4年)	
募集人員	看護学研究科看護学専攻…………… 8名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 5名	看護学研究科看護学専攻…………… 若干名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 若干名
出願資格	次の①から⑤までのいずれかに該当する者 看護学研究科(リサーチコース)及び診療放射線学研究科 ① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者又は2020年3月31日までに卒業見込みの者 ② 学校教育法第102条第2項に該当する者であって、本学大学院において所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者 ③ 学校教育法施行規則第155条第1項第1号から第6号までのいずれかに該当し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められるもの ④ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの ⑤ 本学大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年3月31日までに22歳に達するもの (注)出願資格の詳細は募集要項をご覧ください。	看護学研究科 (1) リサーチコース 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの (2) キャリア開発コース 保健師・助産師・看護師のいずれかの資格を有し、保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの 診療放射線学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの (注)出願資格のうち「一般選抜」の②、④又は⑤により出願を行うとする者(「社会人特別選抜」において「一般選抜」の②、④又は⑤に該当するものとして出願を行うとする者を含む。)は、あらかじめ個別の出願資格認定審査を受け、合格した場合に出願することができる。
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	2019年7月12日(金)～7月26日(金)(②、④又は⑤により出願を希望する者。7月26日付消印有効)	
出願期間	2019年8月9日(金)～8月22日(木)(郵送(書留速達)による出願。8月22日付消印有効)	
入学試験	試験期日 2019年9月7日(土)(予備日 2019年9月8日(日))	
	試験会場 群馬県立県民健康科学大学(〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1)	
	選抜方法 看護学研究科	(1) リサーチコース ・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「小論文」 ・「口述試験」 ・書類審査
	診療放射線学研究科	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
入学試験料	30,000円	
合格発表日	2019年9月17日(火)	
入学手続期間	2019年9月30日(月)～10月7日(月)(郵送(書留速達)による手続。10月7日必着)	
授業料等(2019年4月1日現在)	入学料(県内者：入学料について群馬県内者は半額)141,000円 (県外者)282,000円 / 授業料 535,800円(年間) ・夜間開講、集中講義、長期履修制度により、社会人学生の学業と仕事の両立に配慮しています。	

【2次募集】

上記日程による入学者選抜の結果、入学手続者数が募集人員に達しなかった場合は、以下のとおり2次募集を行います。2次募集の有無については、2019年10月8日(火)以降に本学ホームページ上で公表します。

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年限・出願資格・試験会場・選抜方法・入学試験料・授業料は1次募集と同様です。		
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	2019年12月13日(金)～2019年12月27日(金)(②、④又は⑤により出願を希望する者。12月27日付消印有効)	
出願期間	2020年1月10日(金)～1月23日(木)(郵送(書留速達)による出願。1月23日付消印有効)	
試験期日	2020年2月8日(土)	
合格発表日	2020年2月14日(金)	
入学手続期間	2020年2月26日(水)～3月3日(火)(郵送(書留速達)による手続。3月3日必着)	

2020年度 博士後期課程

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年数	3年(但し、長期履修制度適用の場合は最長6年)	
募集人員	看護学研究科看護学専攻…………… 2名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 2名	看護学研究科看護学専攻…………… 若干名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 若干名
出願資格	次の①から⑧までのいずれかに該当する者、又は次の①から⑧までのいずれかに2020年3月31日までに該当する見込みの者 両研究科共通 ① 修士の学位又は専門職学位を有する者 ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥ 外国の学校、出願資格④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同程度の学力があると認められた者 ⑦ 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号) ⑧ 本学大学院において個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認められた者で、2020年3月31日までに24歳に達するもの	看護学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑧までのいずれかに該当するもの 診療放射線学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑧までのいずれかに該当するもの (注)出願資格のうち「一般選抜」の⑦又は⑧により出願を行うとする者(「社会人特別選抜」において「一般選抜」の⑦又は⑧に該当するものとして出願を行うとする者を含む。)は、あらかじめ個別の出願資格認定審査を受け、合格した場合に出願することができる。
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	2019年7月12日(金)～7月26日(金)(⑦又は⑧により出願を希望する者。7月26日付消印有効)	
出願期間	2019年8月9日(金)～8月22日(木)(郵送(書留速達)による出願。8月22日付消印有効)	
入学試験	試験期日 2019年9月7日(土)(予備日 2019年9月8日(日))	
	試験会場 群馬県立県民健康科学大学(〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1)	
	選抜方法 看護学研究科	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
	診療放射線学研究科	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
入学試験料	30,000円	
合格発表日	2019年9月17日(火)	
入学手続期間	2019年9月30日(月)～10月7日(月)(郵送(書留速達)による手続。10月7日必着)	
授業料等(2019年4月1日現在)	入学料*(県内者：入学料について群馬県内者は半額)141,000円 (県外者)282,000円 / 授業料 535,800円(年間) ・夜間開講、集中講義、長期履修制度により、社会人学生の学業と仕事の両立に配慮しています。	

※本学大学院博士前期課程から引き続き博士後期課程に入学される場合は、入学料はかかりません。

【2次募集】

上記日程による入学者選抜の結果、入学手続者数が募集人員に達しなかった場合は、以下のとおり2次募集を行います。2次募集の有無については、2019年10月8日(火)以降に本学ホームページ上で公表します。

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年限・出願資格・試験会場・選抜方法・入学試験料・授業料は1次募集と同様です。		
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	2019年12月13日(金)～2019年12月27日(金)(⑦又は⑧により出願を希望する者。12月27日付消印有効)	
出願期間	2020年1月10日(金)～1月23日(木)(郵送(書留速達)による出願。1月23日付消印有効)	
試験期日	2020年2月8日(土)	
合格発表日	2020年2月14日(金)	
入学手続期間	2020年2月26日(水)～3月3日(火)(郵送(書留速達)による手続。3月3日必着)	

科目等履修生の募集

大学院連携コース

■ 2019年度科目等履修生の募集概要

内容	本学大学院の授業科目を履修し、正規の単位を修得する制度です。科目等履修生として修得した単位は、本学大学院に入学した際には既修得単位として活用することができます。
募集	看護学研究科 若干名 診療放射線学研究科 若干名
履修科目	開講科目の詳細はお問い合わせください。 (博士前期課程) 1年間に10単位を上限とします。 (博士後期課程) 看護学研究科：1年間に6単位を上限とします。 診療放射線学研究科：1年間に4単位を上限とします。
授業料	1単位当たり14,800円
入学科・その他費用	なし。ただし、指定された教材等がある場合、購入費用は自己負担となります。
出願資格	(博士前期課程) 4年制大学卒業またはそれと同程度の学力を有する者。 (博士後期課程) 修士の学位、専門職学位を有する者、またはそれらと同程度の学力を有する者。
出願期間	前期セメスター：募集を終了しました。 後期セメスター：2019年8月5日(月)～8月16日(金)午後5時必着 出願の際は必ず事前にご相談ください。
選考方法	書類審査のほか、担当教員による面接を行う場合があります。

■【診療放射線学研究科博士前期課程】大学院連携コース科目・単位

県民健康科学大学と群馬大学は、放射線生命医学分野において活躍する高度な人材を養成するために、大学院教育研究において連携し、各大学院の専攻科目に相手方大学院の科目の一部を取り込んだ「放射線生命医学コース」を設置しています。

連携コース教育課程	
授業科目	単位数
●統計・情報処理演習	2
●放射線生物学	2
●情報医療学講義	2
●医用加速器工学	1
●臨床腫瘍学講義	2
●医学物理演習	1
●医学物理実習	1

連携コースの履修方法は下記のとおりです。

- ①入学後の履修登録(履修登録：4単位以上10単位以内)において、連携コースの選択を行います。
- ②連携コース修了要件は、連携コース授業科目4単位以上の修得が必要です。ただし、6単位まで本課程の修了要件単位(30単位以上)に含めることができます。

群馬県立県民健康科学大学 大学院

Gunma Prefectural College of Health Sciences Graduate School

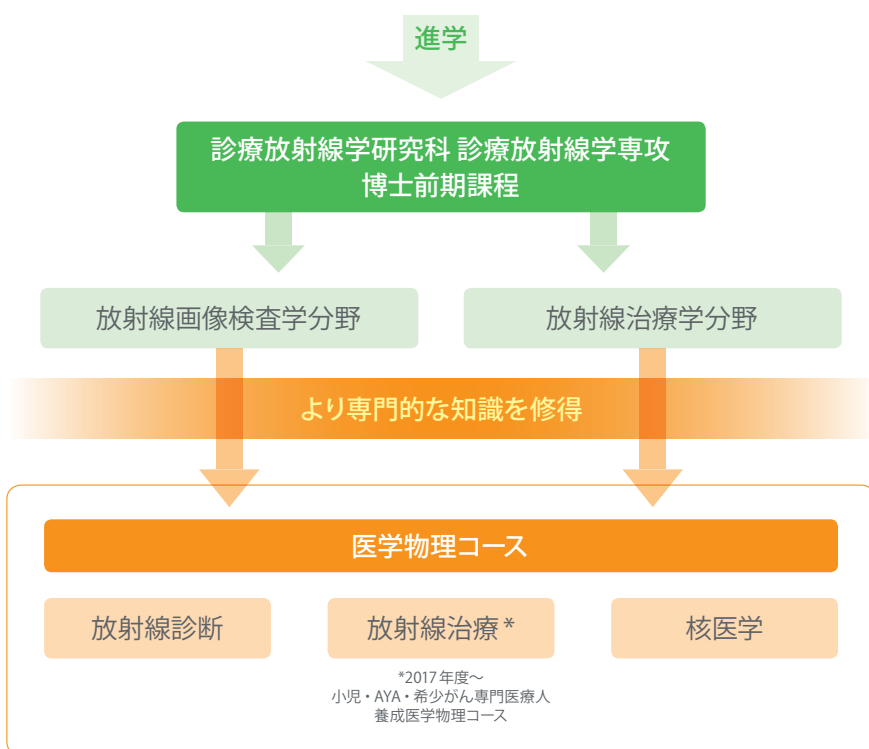
〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211(代表) Fax.027-235-2501

URL <https://www.gchs.ac.jp> E-mail: info@gchs.ac.jp

■ 2020年度医学物理コース履修生の募集概要

教育理念	高度化する医学物理学分野に貢献できる高度医療専門職者としての医学物理士育成を主軸とし、臨床現場で活躍できる幅広い教養を備えた人材輩出はもちろん、将来的に教育および研究においてもエキスパートとなりうるような科学的素養を備えた人材を養成する。
対象	診療放射線学研究科 博士前期課程に在籍する学生
履修科目	大学院シラバスの履修要件に示された必修および選択科目
選考方法	書類審査、担当教員による面接

本学医学物理コース履修のイメージ図



診療放射線学研究科では、ますます高度化・複雑化するこれからの放射線分野で活躍し得る素養を備えた人材を育成することを目的に、『医学物理コース』を整備しています。

2019年度より整備された本学の『医学物理コース』は、すでに設置されていた小児・AYA・希少がん専門医療人養成医学物理コース(放射線治療分野)のカリキュラムを踏襲しつつ、より専門的な知識を修得できるよう、さらなるカリキュラムの拡充を図った教育プログラムになっています。

群馬県立県民健康科学大学 大学院

Gunma Prefectural College of Health Sciences Graduate School

〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211(代表) Fax.027-235-2501

URL <https://www.gchs.ac.jp> E-mail: info@gchs.ac.jp